

建築人

2
2020





大阪ホンマもん

建築人

2
2020

目次

2 大阪ホンマもん

4 インフォメーション・事業案内

6 動静レポート

7 Topics

8 Gallery 建築作品紹介

ダイキンアレス青谷2期

設計 竹中工務店 施工 竹中工務店

9 記憶の建築 松隈 洋

愛知県緑化センター 一九七五年

緑と建築の対話を求めて

10 理事会報告 建築相談室から 編集後記

建築の質を高めましょう

建築表彰部門 部門長 沼田 亘



建築に関わる賞は、世の中に種々あります。大阪府建築士会で主催する賞として、六十四回目を迎える歴史ある「大阪建築コンクール」があります。審査員は建築を多面的に評価できるよう、建築デザイン、構造、設備、まちづくりなどの経験豊富な専門家が構成しています。

建築と社会は切り離せない関係にあります。建築と社会はお互いに影響しあうものです。それだけ社会に対する建築の責任は重いものがあるといえます。建築は、建築士の有資格者の業務独占が法律で許されている行為です。建築には、市民が安心して安全で心豊かな生活がおくれるまちをつくる役割があります。建築士にはそのような建築をつくる責務があり、日々の研鑽、資質向上心が求められます。

魅力あるまち、文化のかおるまちを実現していくため、多くの市民の方に建築について興味を持ってもらい、眼力を持つてもらうことが、建築の質を高めていくことにつながります。

建築士会の活動が、世の中に広がり浸透していくには、多くの市民の方、建築士の方の参加が大切になり、そうなることで建築の質が高まっていくことになると思います。

皆様の積極的な参加をお願いいたします。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

くだおれ大阪と称されるほど食にはうるさい大阪人。住乃江味噌はご存知だろうか。その名物の味噌屋を営むお店は、初詣に二〇〇万人以上が訪れる住吉大社の附近で商いを続けている「池田屋本舗」で、この町屋を紹介したい。

大阪市南部に位置する住みよいまち「住吉」にあつて、南北に走る熊野街道と平野を抜けて八尾へと向かう住吉街道と交わる角にある。代々、住吉村の庄屋を努め、元禄年間（一五五八―一五七〇年）に酒造業を営み、その後に味噌醸造を始めたと伝わる。現存する木造の町屋は明治三五年（一八九二年）に建てられたものだ。

建物は木造二階建てで、一般的な平入町屋ではあるが、敷地角の屋根部分に目立つ高灯籠が施されている。これは江戸時代の住吉浜に、船の安全を航行を支える高灯籠があつて眩い光を燈していたのを模したものだ。附近は早くから住吉詣での門前町として各種商店が軒を連ねて賑わっていた。

池田屋本舗と言えば、昔ながらの米と大豆、塩だけでつくった味噌に砂糖と胡麻を混ぜた住乃江味噌が名物だ。代々引き継がれてきたこの味を、今も一九代当主が守り続けている。日本の中小企業が半数程度が後継者問題を抱えており、経済産業省が問題意識をもって取組みつつあるが解決の道のりはまだ遠い。商売を大きくすると法人化するが、会社組織では後継者が育ちにくい。この先二代当主を指名している池田屋本舗に学びたい。

きます。ご了承ください。 (参加証に集合時間
を記載いたします)

大阪地域貢献活動センター 2020年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづく
りなどの地域貢献活動に対して、本会が活動
費の助成などを行います。
募集締切 3月19日(木)
対象とする活動
原則として建築士と地域住民等で構成する
団体が、地域住民等と連携して進める地域
貢献活動で、営利を目的としていない活動。
助成額 1件の助成額は30万円を限度

限界耐力計算による木造耐震設計 レビューと改修事例の紹介 3/24 CPD3単位(予定)

日本建築構造技術者協会(JSCA)関西支部
の木造住宅レビュー委員会が新たに発行した
「木造住宅・建築物の耐震性能評価・耐震補
強マニュアル(第7部)」より、2011年以降の
耐震設計レビュー実績の分析結果から読み取
れる傾向を紹介し、続いて限界耐力計算を用
いた最新の耐震改修の設計施工事例集の中
から長野県在住の女性建築士が手掛けた事
例を紹介し、最後に他の事例の紹介と新た
に追加した設計資料の解説をします。
日時 3月24日(火) 14:00~17:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 120名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,000円
後援団体会員4,000円
一般5,000円

Administration

行政からのお知らせ

みやざきスギ木造建築セミナー スギ材の魅力と都市における利用を考える 2/14 CPD3単位

スギ材には、優れた調湿機能や空気浄化機
能、温かさ・香りなどの癒やし効果等、多く
の魅力があります。また、「公共建築物等にお
ける木材の利用の促進に関する法律」を契機
に、最近では、東京オリンピック関連施設
での積極的な木材利用に見られるように、
一般住宅に限らず、中大規模木造建築物
の普及が図られています。本セミナーでは
、スギ材の持つ魅力やスギ材でつくる中大
規模建築物の計画・設計について事例を交
えてご説明し、都市における木材利用につ
いて、皆様と一緒に考えていきたいと思ひ
ます。
主催 宮城県
日時 2月14日(金) 13:00~16:00

会場 大阪駅前第3ビル17階 TOG貸教室・
貸会議室1号室
大阪市北区梅田1-1-3-1700
内容 宮崎県の森林・林業と木材利用研究
について
松元明弘(宮崎県木材利用技術センター
木材加工部主任研究員)
講演1 「スギ材でつくる健康・快適空間」
講師 川井秀一(京都大学名誉教授)
内容 オビスキなどスギ材の香りや調湿機
能などの特性と人の生理や心理への
応答を明らかにし、健康・快適な居住
空間づくりについてお話します。
講演2 「大きな建築もスギ材でつくれる」
講師 山田憲明(山田憲明構造設計事務所
代表取締役)
内容 スギの製材や丸太を活かして、体育
館、庁舎、学校といった大きな建築を
つくるための構造計画について、豊
富な事例とともにご紹介いたします。
参加費 無料 定員 60名(先着順)
申込締切 2月7日(金)
問合 宮崎県木材協同組合連合会
Tel.0985-24-3400

Others

その他のお知らせ

講習会 プレストレストコンクリート造 建築物の保有水平耐力計算指針 (大阪開催) 2/6

高さ31mを超えるPC建築物では、保有水平
耐力計算(ルート3b)が行われていますが、こ
れに対応する指針がなかったため、このたび
「プレストレストコンクリート造建築物の
保有水平耐力計算指針(案)・同解説」が刊行
されました。本指針(案)の大きな特徴と
して、①中地震を対象とした一次設計では
損傷限界応力度による部材チェックを行う
、②部材種別をPC梁や柱の実験データをも
とに明確にした点が挙げられます。この刊
行の機会に、本書の内容を解説する講習会を
開催します。
主催 (一社)日本建築学会 構造委員会 プ
レストレストコンクリート構造運営委員会
日時 2月6日(木) 10:30~16:20
会場 大阪科学技術センター 4階401号室
大阪市西区靱本町1-8-4
定員 100名
参加費 本会会員14,000円(テキスト代金)
テキスト 「プレストレストコンクリート造
建築物の保有水平耐力計算指針(案)・同解
説」
問合 (一社)日本建築学会近畿支部
Tel.06-6443-0538

榎文彦のランドスケープが招くアナ ザーユートピア 2/8

榎文彦氏の時代・歴史・風土・コミュニティ・品
格等を読み解く技と哲学を学び、ランドスケ
ープ、まちづくり、建築などを志す皆様との情報共
有の場を目指します。
主催 中之島公園を良くする会
日時 2月8日(土) 14:00~17:30
会場 大阪市中央公会堂
基調講演 榎 文彦
(株榎総合計画事務所代表)
問題提起 吉村元男
(中之島公園を良くする会会長)
シンポジウム
~アナザーユートピアのランドスケープにおける課題~
パネラー
榎 文彦(前掲)
繁村誠人(NPO法人国際造園研究センター理事)
辻口信良(太陽法律事務所・元大阪弁護士会
会長)
佐山 浩(関西学院大学総合政策学部教授)
吉村元男(前掲)
中橋文夫(中之島公園を良くする会事務局、
公立鳥取環境大学教授)
入場料 実務家2,000円 一般1,000円
申込・問合 nak-fumi@kankyo-u.ac.jp
携帯:080-4269-2813 中橋迄

特別講演 Between Nature and Architecture 2/15 CPD2単位

藤本壮介氏の講演会を行います。
主催 一般社団法人京都府建築士会
共催 京都美術工芸大学
講師 藤本壮介(株藤本壮介建築設計事務所代表)
日時 2月15日(土) 10:00~11:30
会場 京都美術工芸大学東山キャンパス南館3F
KYOBIホール
参加費 一般2,500円
定員 150名(事前予約制)
申込締切 2月7日(金)17:00
申込方法
以下のチケット購入サイトにてご購入ください。
URL <https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/01mftx10q1a54.html>

藤本昌也氏講演会 「新ローカリズムの思想を語る」 2/29

地道に生活者に寄り添い住まいや施設づくり・まち
づくりを行ってこられた藤本昌也氏の実践を掘り起
こしながら、建築とまちづくりの建築人としての「理
念」と「作法」を語り合い、クロストークでは様々
な分野の方々との意見交換を企画しています。
主催 新建築家技術者集団 西日本ブロック
日時 2月29日(土) 13:30~16:30
会場 大阪市中央公会堂
(大阪市北区中之島1丁目1番27号)
参加費 無料
定員 50名(申込み先着順)

「第3回 集まれ! 建築女子~異業種交 流! 輝く女性のコミュニケーション~」 2/29

今年で3回目となる「集まれ! 建築女子」は、仕
事で多忙な女性の交流の幅を広げることを目
的として、ラウンドテーブル方式のワークショップ
を行います。建築以外の様々な分野で活躍す
る「異業種でイキイキと働く女性達」にお集まり
いただき、5つのテーマに分かれて、お互いの自
由な意見を交換します。
主催 (公社)日本建築家協会近畿支部
共催 (公社)大阪府建築士会
(一社)日本建築協会
(一社)大阪府建築士事務所協会
(一社)日本建築学会近畿支部
講演 「生きものとしての力を生かす」
講師 中村桂子(生命誌研究者、
JT生命誌研究館館長)
Round Tableワークショップ
「5つのテーマ」
ライフスタイル、家族、社会、友達、経済
※講演会及びRound Tableのオーディエンス
は、男女年齢問わず、自由に参加できます。
日時 2月29日(土) 13:30~17:30
会場 竹中工務店いちょうホール
大阪市中央区本町4-1-13
御堂ビルディング1階
参加費 無料
申込・問合 (公社)日本建築家協会近畿支部
Tel.06-6229-3371

PARAMETRICISM /Segmentmetric+RoboTectonic 3/16 (開催日程が変更になりました)

ザハ・ハディド・アーキテクト代表、パトリック・
シューマツハ氏を招聘しての講演会を開催します。
今回の講演会では脱均質化社会をテーマに日本
の単一化された産業構造を今一度考えなおし、未
来の可能性を示せる場となることを目的としてい
ます。
その上で、東京オリンピックの新国立競技場コ
ンペで最初に選ばれたザハ・ハディド事務所の
現トップ、パトリック・シューマツハ氏にお越しい
ただき日本の産業構造と西欧の産業構造の違い
と本質について議論する予定です。
ご予約は、問合せのメールアドレスよりご連絡く
ださい。
主催 大阪産業大学デザイン工学部
建築・環境デザイン学科
日時 3月16日(月) 18:45~21:15
※当初の日程から変更されています。
講演者 パトリック・シューマツハ
(建築家、ザハ・ハディド・アーキテクト)
山口 隆
(建築家、TYa/TYMDL主宰)
会場 大阪市中央公会堂
大阪市北区中之島1-1-27
参加費 無料(要予約)
問合 大阪産業大学デザイン工学部建築・
環境デザイン学科TYMDL(Takashi
Yamaguchi Media Design Lab)
e-mail:tylab2403@gmail.com

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等

(対象建築物)

公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和元年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
2/7、3/4 CPD各6単位

建設業法に基づく法定講習です。

建築に特化したテキストを使用し、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。

日程 2月7日(金)、3月4日(水)

時間 8:55～17:00

会場 大阪府建築士会会議室

定員 各回30名(定員に達し次第締切)

受講料 WEB申込み9,500円

郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会HPよりお申込みください。

建設工事の安全・健康確保講習会

～大阪府工事入札(実績申告型)の評価点追加対象講習会～
2/12 CPD3単位

本講習会では、設計、施工等の各段階における安全・健康確保の措置や、建築労働者の意識向上を図る取組み方法について講習を行います。

労働災害防止に関する対策を推進することにより、建築労働者の安全と健康の確保を目的としております。ぜひご受講いただき、安全と健康の確保にお役立てください。

日程 2月12日(水)

内容 総合計画・仮設計書のポイント
杭打、鉄骨工事の安全対策 等

講師 山下一彦
(建設業労働災害防止協会)
廣瀬淳司(大日本土木株)

時間 13:30～17:05

会場 大阪府建築士会会議室

定員 60名(定員に達し次第締切)

受講料 建築士会会員3,000円

後援団体会員4,000円

一般5,000円

被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会

2/19 CPD3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う判定士を養成する講習会です。ぜひ本講習会を修了のうえ判定士にご登録ください。

日程 2月19日(水)

時間 受付12:30～、講習13:20～17:00

会場 大阪府建築健康会館6階ホール

定員 150名(定員に達し次第締切)

対象者 大阪府内在住または在勤の一級・二級・木造建築士、並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員

テキスト代 1,500円(受講料は無料)

申込 大阪建築防災センターHP参照

https://www.okbc.or.jp/course/2979/

令和元年度建築士定期講習

2/25、3/26、3/31

CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成28年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

日程・会場・定員

※2/25(火) 大阪YMCA会館 200名

3/26(木) 大阪YMCA会館 200名

3/31(火) 大阪府建築健康会館 90名

時間 9:15～17:00(各講習日共)

受講料 12,960円(消費税込。事前振込)

申込書配布場所

大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成28年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)

申込方法

上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局

※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

https://jaeicikosyu.jp/jaeicteikikosyu/

(注) 各回定員に達し次第、受付を終了します。

景観まちづくり講座テーマ別受講生募集

2/15、2/29、3/14 CPD3単位/1回

現在実施中の景観まちづくり連続講座テーマ①～③の希望される講座に参加できます。

①日時 3月14日(土) 13:00～16:10

内容 古地図研究と景観まちづくりの意義及び受講生による成果発表会
講師 岡 絵里子(関西大学教授)

実践講座(現場での実践を通して学習します)

②日時 2月15日(土) 13:00～16:40

内容 まち歩き現地調査及び意見交換

③日時 2月29日(土) 13:00～16:40

内容 まち歩き調査のまとめ方と提案作成

定員 各テーマ10名程度(申込先着順)

会場 本会会議室、又はまち歩き場所

受講料 会員2,000円 会員外2,500円/1回
(講義資料代を含む)

申込締切 各テーマ開催日の5日前まで

大阪府ヘリテージマネージャー／ステップアップ講座(スキルアップ講習)

「歴史的都市性の価値を保全する変化」

2/13 CPD2単位

歴史的都市空間の持続可能な変化とは何か、都市の歴史や都市性を保全しつつ、次の時代の街並みへとつながる変化(開発)のあり方とは何かを船場などの事例を通じて考えます。

日時 2月13日(木) 18:30～20:30

会場 大阪倶楽部3号会議室

講師 小浦久子(神戸芸術工科大学芸術工学科環境デザイン学科教授)

定員 40名程度

参加費 本会会員、ヘリマネ育成講座修了者・受講者、学生500円

会員外1,000円

国土交通省補助事業

改正民法に備える! 建物状況調査・既存住宅売買瑕疵保険活用セミナー
2/13

2020年4月の民法改正において「瑕疵担保責任」の規定が無くなり、新たに「契約不適合責任」が定められることで、建物状況調査や既存住宅売買瑕疵保険の活用が求められます。本セミナーでは、弁護士・建築士・宅建士・保険取扱者が、それらの内容やメリット等について今回の講習用に作成したテキストを用い、詳しく解説します。なお、宅建業者の方を対象としたセミナーですが、どなたでもご参加いただけます。

日時 2月13日(木) 14:00～16:00

(開場13:30)

会場 ドーンセンター7階ホール

定員 500名(定員に達し次第締切)

受講料 無料

職人シリーズ第7弾「瓦」

淡路瓦工場・採掘現場見学会
2/8 CPD3単位

地域委員会建築士の会南河内では和風住宅建築についての講習会を開催します。今回は瓦工場を見学し、瓦屋さんからお話を聞いて木造住宅の新たな発見と瓦の可能性を再発見します(本福寺水御堂なども見学します)。

日程 2月8日(土)

時間 近鉄なんば駅(北側道路側)
8:30集合 18:30解散予定

会場 大栄窯業(株)

参加費 会員6,000円 会員外6,500円

定員 22名(申込先着順)

平成31年度文化遺産総合活用推進事業

「はじめよう、文化財の活用」
2/15

本講座は毎回異なる国の登録有形文化財を会場とした「まちあるき」や「ワークショップ」といった体験型の講座です。また其々の文化財所有者からは文化財の保存及び活用の取組事例や課題などを伺います。体験を通じての疑問や意見を所有者や講師との質疑応答で解決しながら文化財の活用を通じた保存活動ができる力を磨いていただきます。

日程 2月15日(土) 願得寺:能にふれる

時間 13:30～16:30

募集 24名(定員に達し次第締切)

参加費 1,500円

(公社)大阪府建築士会・大阪弁護士会共催 建築紛争セミナー4(鑑定業務支援委員会セミナー)

「雨漏り～調査・補修・法的手続き～」
2/4 CPD2単位

本会では建築紛争解決や鑑定に必要な専門知識をもつ人材の育成に力を注いでいます。今回は雨漏りの調査方法やその問題点、調査費用・補修方法・補修費用、雨漏り事件処理の難しさなどの疑問について、弁護士と建築士の対談方式で説明いたします。

日時 2月4日(火) 18:00～20:00

会場 大阪弁護士会館
(大阪市北区西天満1-12-5)

定員 100名(定員に達し次第締切)

参加費 無料

Hat house見学会

(第63回大阪建築コンクール渡辺節賞受賞作品)～建築家 阿曾実史の設計術を学ぶ～
3/11 CPD2単位(予定)

日時 3月11日(水)

1班 13:00～14:30

2班 14:00～15:30

集合場所 阪急神戸線王子公園駅東口改札

定員 20名

参加費 会員1,500円 会員外2,500円

※個人住宅見学のため2班に分けさせていただ

会長動静

- 12/26 田尻町長面談
 1/ 6 在阪建築 15 団体新年交礼会
 1/ 9 日本建築材料協会新年交礼会
 1/10 連合会総務企画委員会
 1/14 大阪府収用委員会
 大阪都市景観建築賞表彰式
 建築設備技術者協会新年会
 1/15 運営委員会
 1/16 連合会正副会長会議
 1/17 連合会理事会
 1/21 大阪電業協会賀詞交歓会
 1/22 理事会・正副会長会議
 1/23 近畿建築士会協議会
 1/24 摂津市長面談
 大阪府宅地建物取引業協会新年互礼会
 * 連合会：(公社) 日本建築士会連合会



(右)
栗山美政
田尻町長



(右)
森山一正
摂津市長

日本建築士会連合会

日本建築士会連合会の次期会長選挙

12 月度本会理事会において、岡本会長が(公社)日本建築士会連合会の次期会長に立候補することを表明され、1 月 17 日の連合会理事会で決議された次年度役員選考スケジュールに基づき、1 月 22 日に連合会事務局へ、近畿 2 府 4 県建築士会会長連名の推薦書とマニフェストを添えて立候補の届出を行いました。岡本会長の他に近角真一東京建築士会会長も立候補されており、次期会長選出の選挙が行われます。選挙は全国 7 ブロックから 1 名ずつ選出の選挙人等により、3 月 10 日に実施されます。

運営部門

栗生明氏が総会記念講演の講師に決定

令和 2 年 5 月 20 日の本会総会の記念講演講師に栗生明(くりゅう あきら)氏から快諾をいただき決定しました。



氏は 1947 年生れで(株)栗生総合計画事務所代表取締役です。略歴は、1973 年早稲田大学大学院修士課程を修了後、横総合計画事務所を経て、1979 年都市建築設計事務所 K アトリエを設立。1998 年～千葉大学工学部教授。2013 年～同大学の名誉教授です。代表作の平等院鳳翔館や植村直己冒険館、国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館をはじめ様々な建築物の設計を手掛けられ、建物のヴォリュームの多くを地下に埋めた作品が多く、風景や環境に配慮したモダニズムの作風で知られています。また、日本建築学会賞作品賞、日本芸術院賞、村野藤吾賞など多くの賞を受賞されています。なお、定時総会のご案内は、4 月及び 5 月号の建築人に同封します。

社会貢献部門

近畿大学病院の災害対策訓練に参加

阪神淡路大震災から 25 年にあたる令和 2 年 1 月 17 日に、府健康医療部の「大阪府保健医療調整本部」が中心となり、本会も参画して大阪府内の病院を対象とした地震津波災害対策訓練が実施されました。

訓練は、災害により診療機能に支障がでて医療提供を確保することを目的として、府内 3 カ所の拠点病院において、建物の安全性の判定、関西電力の電源車や自家発の燃料供給等の停電対応、自衛隊の給水車による水の供給、医薬品や食料費等の確保の実地訓練が行われました。本会からは、狭山市の近畿大学病院で行われた建物被害調査訓練に、応急危険度判定士で本会建築物耐震評価委員会副委員長の横田友行氏を派遣しました。本病院では、南海トラフ地震により病棟

が被災し、その後の余震による倒壊の危険度が高まったという想定の下に、200 名を超える病院棟の入院患者をいかにして早く避難させるかを、近畿大学病院と DMA T (災害派遣医療チーム) の医師・看護師が議論し、多くの問題点が抽出されその対応の検討を行いました。今後の課題も明らかになり有意義な訓練となりました。



近大病院救急災害センターにおける訓練の様子

建築表彰部門

第 39 回大阪都市景観建築賞の表彰式を開催

1 月 14 日に大阪府庁本館「正庁の間」において、本会が事務局を務める第 39 回大阪都市景観建築賞の表彰式を、受賞者 35 名の出席で行いました。

式典では近畿大学教授の久審査委員長による審査講評の後、大阪府知事賞の認定こども園日吉幼稚園は大阪府田中副知事より、大阪市長賞の JO-TERRACE OSAKA は大阪市高橋副市長より、審査員特別賞、緑化賞、建築サイン・アート賞、奨励賞は本会岡本会長より、建築主、設計者、施工者にそれぞれ賞状が授与されました。

運営部門

本会名等を装った迷惑メールに関する注意喚起

本会名及び本会役員、委員、職員名を装った「迷惑メール(なりすましメール)」が不正に発信されるという事例が多数確認されております。当該の迷惑メールは、本会とは一切関係がございません。メール開封前に差出人や件名等をご確認いただき、怪しいものは開封されずに削除されますようご注意ください。

近畿産業信用組合本店 現地見学会～時代の先端をゆく都市型高層 ZEB の実現～

日程：令和元年 11 月 26 日（火） 会場：近畿産業信用組合本店 参加者：34 名

吉村淳二（研修委員会担当理事）



2015 年に経済産業省が ZEB ロードマップを提示して以降、ZEB を目指した建物は、その多くが郊外型の比較的低層、規模も小・中規模のものでした。外壁率が低く外気負荷が小さい、創エネの為のスペースが必要に応じて確保しやすいなど、ZEB を実現するうえで有利な条件が揃っている場合に取り組んでいく、そうでない場合は、なかなか ZEB に届かないということが現実的には多いのではないのでしょうか。

ところが、今回見学会が開催された近畿産業信用組合本店は、都市型の高層ビルでありかつ延べ面積が 10000㎡以上ありながらも ZEB Ready（61% 削減）を達成したということです。

場所は、大阪市内中心部、堺筋通り沿いの金融機関が多く集まるエリアのほぼ中央で、堺筋通りに面してガラススキンをまとった伝統と革新を表現した外観が印

象的な建物です。

まず初めに、建物内部にある最大 272 名収容可能なきんさんホールにて、設計施工者の大成建設様から設計説明と施工説明を受けました。

達成難易度の高い都市型高層ビルで ZEB を実現するための様々な先端技術、ダブルスキン内熱利用空調システム、顕熱交換機による省エネ再熱空調システム等、設計者自らわかりやすく説明いただき、また、施工においても難易度の高いダブルスキングラスの取付の工夫等を実際の施工担当者から伺うことができました。その後の現地見学は、屋上から 1 階まで、金融機関の建物としてセキュリティが厳しい中、近畿産業信用組合様の多大なご協力により、最先端の省エネルギー技術を余すところなくご紹介いただくことができました。近畿産業信用組合様は、ZEB LEADING OWNER にも登録され

ております。

金融機関として初めての都市型高層 ZEB は、理解のある施主の下で、省エネ技術を精密に組み合わせ、丁寧にシミュレーションを重ねて試行錯誤を繰り返し、最適解を粘り強く求め続けた結果、実現できたものではないかと思います。

将来の新しい技術を取り入れずとも、今の時代の技術で都市型高層 ZEB を実現して見せたところにこの建物の凄みを感じました。



近畿産業信用組合本店外観

建築技術講習会「令和元年度建築紛争における法的措置とその対応策」

日程：令和元年 12 月 6 日（金） 会場：大阪府建築健保会館 参加者：69 名

山添光訓（研修委員会担当理事）



「建築紛争における法的措置とその対応策」の講習会は今回で 3 回目となります。これまで、大阪府建築士会の会議室で開催していましたが、定員を超える申し込みを頂きお断りをせざるを得ない状況が続いており、今回は広い会場で開催することになりました。

近年、建築紛争は、瑕疵や契約問題にかかる設計者、工事請負者と建築主の争いから、高層マンション等の建設による日照、採光の阻害、風害、プライバシーの侵害などの近隣住民と建築主との争いに至るまで多様化し、行政不服審査請求や訴訟など法的措置に発展する事例も少なくありません。

私自身も 6 つの府内の特定行政庁や開発許可権限を有する自治体の建築審査会、開発審査会の委員を務めておりますが、2 年 10 ヶ月の間に 5 件の建築確認や開

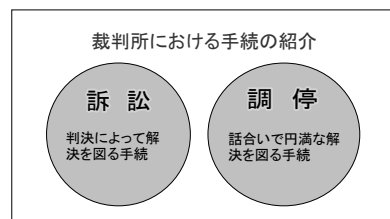
発許可の取り消し請求がありました。万一、取り消し処分がされた場合は、建築主、設計者はもとより、指定確認検査機関、行政庁側も甚大な影響を被ることになります。

講習会では、建築確認の取り消し審査請求など審査を行う大阪府建築審査会の委員で行政法の専門家でもある近畿大学法科大学院の海道俊明准教授と、大阪地方裁判所第 10 民事部の鈴木喬判事をお招きし、建築紛争ができるだけ法的措置に移行しないように予防策とともに、万一法的措置に移行した場合、訴訟への対応とともに調停制度の活用についても事例等も交えながらご講義がありました。

講師は、何れも現役の建築審査会の委員と裁判官であり、公益社団法人である大阪府建築士会が主催であればこそ、こうした講習会が実現できたものと考えてい

ます。

講義の中では、①建築物が行政規制（たとえば日影規制）に合致しているからといって、必ずしも違法性がないということにはならないこと、②法的紛争に至るまでの交渉段階で可能な限り誠実に対応することが後々の裁判所の判断に影響する、③設計、工事監理者、施工者が契約関係にない居住者、隣人、通行人に対しても、建物としての基本的な安全性が欠けることがないよう注意義務を負うなどの判決事例の紹介があり、業務に有益な内容となりました。





砂浜に面する築10年の研修所の増築。社会や企業に対する姿勢が変化するなか、Ales（ラテン語：飛翔）という言葉をあらかず既存建物の「形」を、砂浜地の環境と最新の技術を融合させた「関係性」へ発展させることで、あらたな全体像の獲得をめざした。研修棟と宿泊棟を繋ぐホワイエは、海や緑の風景・卓越風・日射をパラメーターとして、屋根・バルコニー・サッシュ・天井高さ・内装が変化する断面で構成し、そこに自然換気・地熱交換・スポット空調を組みあわせている。自然環境と建築の関係を改めて問う、新しい「空気・空間」のプロトタイプである。

（山本拓治）

所在地：鳥取県鳥取市
用途：研修所・保養所
竣工：2018.09
構造規模：S造7階
地下1階
敷地面積：57,718㎡
建築面積：12,439㎡（全体）
7,400㎡（増築部）
延床面積：30,402㎡（全体）
13,677㎡（増築部）
写真：竹中工務店

二〇一九年十二月初旬、建築家・瀧光夫（一九三六―二〇一六年）の初期の代表作として知られる愛知県緑化センターを学生たちと初めて見学に訪れる機会があった。私事ながら、生前の瀧とは、彼の恩師である増田友也（一九一四―八一年）の生誕一〇〇周年記念建築作品展（二〇一五年）の際に接する機会があり、温厚な気骨さを湛える笑顔が印象に残った。だが、彼の建築に触れることもないまま翌年の突然の訃報に接し、愕然とする。それでも、瀧を敬愛する元所員の高砂正弘氏の紹介で、二〇一七年に遺族の瀧梢夫人から設計原図やスケッチなど貴重な建築資料の寄贈を受けた。

こうして、筆者の大学の美術工芸資料館に運び込まれた大量の直筆の図面とスケッチに初めて触れて、瀧の切り拓いたランドスケープ・デザインの意味に改めて気づかされ、一本一本の樹木まで精緻に描き込まれたドローイングに魅せられた。幸いにも、水戸市植物公園（一九八七年）に感動した経験を持つ一人の大学院生が、整理作業を進めながら、瀧の建築を全国各地に訪ね歩き、関係者の聞き取り調査も行つて、修士論文にまとめ上げてくれた（鈴木悠介『瀧光夫の設計思想と一連の建築に関する研究』二〇一七年度京都工芸繊維大学大学院修士論文）。現在、その成果を元に建築展を準備中であり、展示計画と模型制作を担当する学生たちと現地を訪ねたのである。

名古屋駅から市営地下鉄と名鉄線乗り継いで一時間弱で豊田市駅に到着する。駅前からバスに乗り換えて約三〇分で緑化センターに辿り着く。五〇haの県有林の深い緑に蔽われた敷地は広大で、バス停から建物は見えない。案内板に従って林の中の小路をしばらく進むと、視界が急に開け、芝

生の広い前庭に面した本館が姿を現わす。正面のメインエントランスへと続く緩やかな石積みめの外階段の先に、細い鉄骨の柱で約六mの高さに持ち上げられた一辺約四〇m、高さ約四mのロの字型のハーフミラーガラスと黒いスチールサッシュ、白い軒天井から構成された軽快な建物が見えてくる。外観から建物内部の様子をうかがうことはできず、どこか研究所のような雰囲気のある表情をしている。階段を上り、エントランスに近づくと、玄関扉のアクリル製押

ル正面の窓枠のない全面吊りガラスの大きな開口部の外側には、カスケード広場と名づけられた白いインド砂岩が敷き詰められた庭園が広がる。その先の鬱蒼と茂る杉林の真ん中には、全長一〇〇mを越える長さのカスケード（水路）が設けられ、そこから流れ落ちる心地よい水音が広場全体に響いている。それにしても、この「緑化センター」という施設は、何を指して計画された建築なのだろうか。竣工時の文章には、次のような瀧の言葉が残されている。

れほどみんなが建築に食傷し絶望しているということであろう。緑化の名のものの、建築や環境デザインの基本的なありかたが問われている、とうけとめるべきだろう。」（瀧光夫「緑と建築と」『新建築』一九七五年八月号）

背景にあったのは、一九六〇年代の高度経済成長によって露呈した、自然破壊と公害問題に対する強い危機感だったのだろう。瀧は、こう記した上で、「緑化センター」の設計を通して何を考えようとしたのか、について、次のような説明を加えている。

記憶の建築

松隈 洋

愛知県緑化センター 1975 年 緑と建築の対話を求めて



本館正面外観



本館中央のグリーンホールを見下ろす

「さまざまな緑にかかわる手法をできるだけ広範囲に、場所用途に応じて展開してみること、それらが総体としてひとつの魅力的な環境づくりとなること（中略）。建築があつて余白に造園というのではまずい。建築をつくるのが同時にひとつの庭を生み出すようなやりかたでなければならぬ。緑に場所を提供しながら建築の用をみたす——というよりむしろ、緑に席をゆずることによって、かえってそのことがより建築的であるといった風でありたい。」

このような考え方の象徴として位置づけられたのが、中央に配置された本館なのだろう。そこからは、建築と庭が一体となつて構成された表情豊かな内外の空間が広がっていた。竣工から四十五年、瀧の求めた建築は、人間にとって自然とは何か、を現在の私たちに静かに語りかけている。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授、博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

理事会報告

文責 本会事務局

日時 一月二十二日(水) 十六時～十八時

場所 本会会議室

出席 理事三五名 監事二名

(1) 一二月の当期経常増減額は、収入一〇、六三七、六二三元、支出一三、七〇六、二二八円、差引△三、〇六八、六〇五円で、本年度累計の収支差引四、五六九、六七八円を報告して承認しました。

三月末の決算見込みは、予算に比べ会費収入は順当に納付していただいています。公益目的事業は約三〇〇万円減、全体計でも約二七〇万円減となる赤字決算の見込みを報告しました。年度末までの短期間では特に支出の緊縮を実行して赤字決算を回避することとしました。

(2) 本会賛助会員の(株)総合資格と(株)建築資料研究社・日建学院の両社の建築技術者向け講座の割引等に関する覚書について、本会主催事業との重複PRを除くことを条件に締結することを承認しました。また総合資格とは本会事務局前E Vホールに専用のカタログラック二台を有料で設置することと併せて承認しました。

(3) 連合会から消費税増税に伴うCPDデータ管理費で年間約三万円の増額要請があり、対応策として非会員の年間データ管理費を現行の六〇〇円から六二〇〇円に増額することを承認しました。

(4) 昨年一二月一九日実施の府法務課の公益法人立入検査では、会計処理や理事会運営等の詳細事に改善指摘を受けましたが、本会活動に大きな支障はないことを報告しました。正式には府から公益認定等委員会への諮問後に本会に通知をいただく予定です。

建築相談室から四十六

悩める建築士 一

文 橋本頼幸

本会建築相談室にかかる電話のほとんどは一般消費者からの電話相談ですが、そのうちの一定程度ではありますが「建築士」からの相談があります。建築士からの相談は、本会会員かどうかにかかわらず受け付けております。また、設計監理者か施工者かなども問いません。自己が関与する物件において施主・発注者や他者とのトラブルが発生している場合もありますが、それ以外にも様々な相談が寄せられています。そんな悩める建築士の相談をご紹介します。

デザインが盗まれた

「ネットカフェのデザインを提案した。実現に至らず、図面は提出していないが、案を流用された。」「自分の計画をそのまま工事された。どうかできないか?」「設計者・デザインをしている建築士としては経験することがあるのではないのでしょうか?」建築士の描いたデザインや計画がどこまで著作権が及ぶのか様々な議論がありますが、とにかくデザインに対する著作権は過小評価されがちです。

確認申請などの手続に関すること

「知人が本造三階建ての住宅を建築中に、建築業者が倒産した。工事はようやく完了したが、申請上の監理者がお金をもらっていないのことで完了検査を拒否している。どうしたらいいか?」「建築確認済証の再発行はできるのか?」「建築確認申請などの副本は誰が保存する必要があるのか。建築士法などの法令上どこに記載されているのか。わからなければ調べてほしい。」「本来直接行政や確認検査機関に確認してほしいような相談もよく寄せられます。行政などに聞くのはちょっと恥づかしいけど、建築相談

なら聞けるかな、というような心情でしょうか。

建築士事務所運営について1

「一人事務所では管理建築士と設計をする建築士を兼ねることができているのか?最近独立したのでわからない。」という相談が寄せられていました。この方は施工をされていたのかもしれない。公共工事を施工者として請けるとき、専任技術者は、その営業所に常勤して、専らその職務に従事することが求められます。また、公共工事の現場代理人は、工事現場に常駐するものと規定されていることがほとんどのため、営業所の専任技術者が、現場に常駐することを要求される現場代理人になることはできません。このようなことから、一人で設計事務所が運営できるのか、と考えたのかと想像しました。単純な疑問だったのかもしれませんが、建築士事務所運営について2

「以前勤めていた不動産会社で管理建築士をしていたが、建築士事務所は廃業した。不動産会社としては営業を継続している。その後、自分は独立して設計事務所を営んでいる。不動産会社で行っていた残務(監理)の請求・領収証は発行できるのか?」これはこれで結構切実な悩みかもしれません。本来は廃業する前に残務処理は終わらせておくべきかもしれませんが、設計事務所の仕事はつのプロジェクトが長期にわたったり、ずいぶん以前の案件が復活してきたりすることもあるので、きりをつけるのが難しいのかもしれない。

悩みのつきない建築士達

建築士業務をしている中で、ふとどこに相談したらいいんだろう、という疑問が浮かぶことも多いと思います。本会建築相談室はそんな建築士の相談先として機能しています。悩める建築士のお話は次回に続きます。

編集後記

若江直生

建築人編集委員をさせていただき早くも二年が経ちました。同委員会では雑誌建築人のリニューアルを継続検討しています。その中で、大阪府建築士会ならではのコンテンツとは何か、WEBを活用した海外も視野に入れた活動の可能性、関西建築会を盛り上げるにはどうしたらよいか、など会誌のあり方について幅広い視点で議論を深めているところです。

関西には在阪建築四団体(一社)大阪府建築士事務所協会、(一社)日本建築協会、(公社)日本建築家協会近畿支部、(公社)大阪府建築士会)をはじめ、歴史と特色のある複数の団体が活発な活動をしています。私自身、組織設計事務所に所属する傍ら複数の団体に所属し、大いに刺激を受けています。これら在阪団体との協力や、関西の建築士会、他委員会とのコラボレーションの可能性なども含め、万博・インバウンド需要の高まりをはじめ盛り上がりを見せる大阪において、新たな雑誌建築人の企画が、関西建築界を盛り上げる一助となるよう、今後も検討を進めたいと思います。

建築人 2020

監修	公益社団法人大阪府建築士会		
	建築情報部門		
編集	建築情報部門『建築人』編集部		
部門長	飯田英二	笠井志保 茂籠一之 橋本頼幸 三谷勝章 若江直生 母倉政美	
委員長	高原浩之		
編集人代表	北 聖志		
編集人	梅田武宏		
	河合哲夫		
	曾我部千鶴美	中和印刷紙器株式会社	
	牧野隆義		
	武藤優哉		
事務局	山本茂樹		
印刷	中和印刷紙器株式会社		

信楽焼 洗面器・手洗器



信楽特有の土味を活かし、素朴な味わいを残しながら、カラフルでモダンな器に仕上げました。大きさや仕様の異なる5アイテムをご用意。それぞれ8色展開。設置場所やインテリアに合わせてコーディネートしていただけます。

	手洗器 HW1053-■		W (ホワイト)		R (レッド)
	洗面器 HW1052-■		D (ブラック)		DBR (ダークブラウン)
	手洗器 HW10530-■		B (ブルー)		BG (アイボリー)
	手洗器 (埋込型) HW1051-■		PU (パープル)		DH (ダークグレー)
	洗面器 (埋込型) HW1050-■				

* 品番末尾の■には右記の色記号が入ります



JO-TERRACE OSAKA 大和ハウス工業

大阪城公園北東の玄関口である大阪城公園駅前エリアは本丸・天守閣へ向かう観光客、大阪城ホールや太陽の広場などで実施されるイベント参加者、公園北側に集積するオフィスビルや商業施設など多くの人々の動線となるエリアである。そのエリアに公園利用者の利便性を向上し大阪城公園の魅力を向上させるためJO-TERRACE OSAKAを整備した。

計画施設はJR大阪城公園駅からペDESTリアンデッキで直結し、長年課題であったバリアフリー化を実現している。また大阪城公園を走るランナーをサポートするランニングステーションなども整備し2017年6月にオープンした。

既存の樹木を可能な限りそのままの位置で保存し、樹木を中心に建物を配置することで公園の緑に溶け込むよう計画している。既存の樹木より高さを抑えた2階建てと平屋建ての複数の建物は同じ勾配の片流れ屋根とし統一感のある建築群としている。ファサードは全面ガラス張りとし外部からは店舗内の賑わいを感じることができ、内部からはどこからでも緑を感じられる。建物は7棟で構成され2階からは天守閣を望みながら食事を楽しむことができ、中央のメインストリートでは風が通り抜け、木陰で心地よい時間を過ごすことができる。メインストリートの柱に連続して設けたノレンにグラデーションと店舗ロゴを入れることによって新たな城下町の賑わいを演出している。また、初代大坂城を築城した豊田秀吉が馬印としていた瓢箪をデザインモチーフとした照明器具やスツールを取り入れモダンな和を表現した。

撮影：株式会社仲和 第39回大阪都市景観建築賞大阪市長賞受賞作品

■プロフィール

岩上 嘉樹
1980年生まれ。
2001年 大阪府立工業高等専門学校
建設工学科卒業。
2001年～06年まで施工管理に従事。
2006年 大和ハウス工業入社。
現在 同社本店建築事業部設計部。

■建物データ

設計：大和ハウス工業株式会社
施工：大和ハウス工業株式会社
建築主：大阪城パークマネジメント株式会社
所在地：大阪市中央区大阪城3-1
主要用途：飲食・物販
竣工：2017年6月
構造規模：鉄骨造 地上2階
敷地面積：58,317.16㎡
建築面積：4,836.51㎡
延床面積：6,985.19㎡

